

わかしお便り

Vol. 31

Wakashio Dayori
2020.03.16

CONTENTS

- 原料小麦情報……シカゴ市況、麦価・粉価動向など
- 市場トレンド情報……‘ちばふん’目線で最近の食品市場をご案内
- 千葉製粉関連情報
- 新製品発売状況……イチオシ製品のご紹介
- 雑感(2項目)

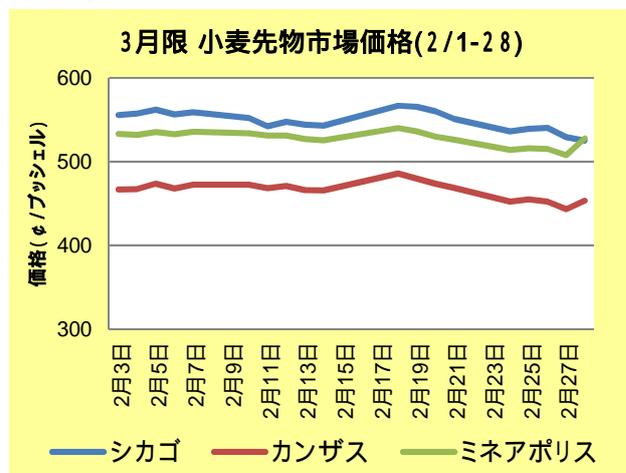


中旬まで上げ下げを繰り返すも、下旬以降は 新型肺炎の感染拡大懸念により大幅下落。

2/1~29のシカゴ穀物相場(3月限)は、φ525~567/ブッシェル(bu)のレンジで推移しました。2月中旬までは豪州の干ばつによる生産量の引き下げや、欧州や黒海沿岸諸国の次年産小麦の作柄懸念等による相場の押し上げと、ファンドのポジション整理による売り圧力によって上下する動きになっていました。

下旬に入ると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念によるリスク回避の動きから売りが集中し、月末にはφ525まで下落しました。3月に入り、欧州や米国でも感染が拡大してきていることから、商品相場のみならず為替や株価も大きく乱高下しており、市場の混乱はしばらく継続するものと予想されます。

USDA(米国農務省)の小麦需給報告においては輸出数量の増加見通しに伴い、米国産小麦の期末在庫は前月からさらに68万トン減少し、引き続き過去5年で最低の在庫水準となっています。ワシントン、オレゴン、アイダホ州といった西海岸の主要小麦産地やカンザス州では干ばつ傾向が続いており、冬小麦の



生育への影響が懸念されます。いよいよこれから本格的な天候相場に突入しますが、前述の通りコロナウイルスの感染拡大による影響がどのように出てくるのかは未知数であり、予断を許さない状況です。

国内産小麦については、先月から引き続き気温が高めで推移しているため、生育が非常に早まっています。このままのペースで出穂から登熟まで進んでしまうと、倒伏や小麦粒の充実不足による収量低下を招く恐れがあります。昨年も冬場の高温による生育の進み過ぎが懸念されていましたが、今年も同様の傾向です。

市場トレンド

情報



粉屋から見たお米について

2020年、早くも3月を迎えました。世間はコロナウイルスによる大騒動となっております。執筆中の現在、中々打開策が見つかっておらず、恐怖を感じる毎日です。このわかしお便りが発刊される頃には事態が好転しているといのですが...

対策は様々ありますが、しっかりとした食事・睡眠が何よりも大事になってくると思います。

食事といえば我々製粉会社としてはある意味ライバルのような存在となりますが、「米」の存在は欠かせません。日本において長年主役を務めている主食の王様です。最近では某大手ハンバーガーチェーンがライスバーガーを発売したことで、あらためて注目を集めています。ライスバーガーとはパンズの代わりに米飯を使用した商品ですが、元々日本では1987年に別のハンバーガーチェーンが発売したのが始まりとなっており、日本生まれのハンバーガーと言えます。発売当初からとても評価の高い製品だったのですが、今あらためて注目されています。

米に関して言えば、我々製粉業界でも米粉という形で大分浸透している印象です。米粉には小麦粉に含まれているグルテンがないため、ダメになりづらく扱いやすいという特徴があります。また揚げ物などに使用すると、非常にカラッとした食感に仕上がります。さらに米粉はいわゆるグルテンフリーという面でも注目を浴びており、東京都内にはこの点にフォーカスした米粉専門の洋菓子店も存在します。

その他、米粉を使用したパンなども数多く出回っており、ロールケーキ、うどん、餃子といった様々な小麦粉製品でも使用されているようです。

確かに米粉は我々製粉会社にとってライバル的な存在ですが、小麦粉に配合したミックス粉という形にすることで独自の食感が得られるなど、製品の特徴付けには切り離せない存在となっています。

個人的な話ではありますが、冒頭ご紹介したライスバーガーを私も最近初めて食しました。食べる前は正直、懐疑的な部分はあったのですが、非常に美味しく頂けました。長年愛されている商品をあらためて見直すいい機会になりました。

もしお近くのハンバーガーショップにライスバーガーがあり、まだ食されたことがない方がいらっしゃいましたら、是非一度お買い求めになってはいかがでしょうか。



千葉製粉関連情報



寒い時こそ、
熱々のピッツァが食べたい！

今年も早いもので早2ヵ月が経ちました。皆さまいかがお過ごしでしょうか？ さて今回のわかしお便りでは、ナポリピッツァの専門店をご紹介します。まず始めに、ナポリピッツァについてご存じない方もおられると思いますので、簡単にご説明したいと思います。

私たちの食生活の中で身近に感じられるピザですが、ナポリピッツァとはピッツァの本場イタリアはナポリで食べられているピッツァになります(ちなみにピザとピッツァは別物になります。ピザは鉄製の窯で焼いて大勢でとり分けて食べるもので、アメリカで誕生しました。一方ピッツァは石窯で焼き、基本的には一人で食べ切る物となります)。またナポリピッツァの特徴は概ね以下のようになります。

生地に使用出来る原料は、小麦粉・水・酵母・塩のみ

生地は手だけで伸ばし、窯の床面にて直焼き
窯の燃料は薪、もしくは木くずとする

非常に厳格に規定が定められているのがわかりますね。ちなみにナポリピッツァはEUにおいてSTG(伝統的特産品保証)に認定されているそうです。

さて、前置きが長くなりましたが、いよいよ本題です。昨年11月、大阪の老舗小麦粉問屋であり、弊社特約店である岡本商店様が、大阪市北区にナポリピッツァ専門店「Pizza.co.lab」をオープンさせました。イタリアから直輸入した薪窯を使用し、専門店で修業された職人さんが1枚1枚丁寧に焼き上げた、美味しいナポリピッツァを提供してくれます。

この「Pizza.co.lab」ですが、弊社千葉製粉の国内産小麦粉「ボンジェルメ」ならびに「エクラ-エル」を使用しています。厳選された国内産小麦を原料とし、長年培った小麦粉のノウハウを活かした、ナポリピッツァに最適な小麦粉です。ぜひこの機会に、千葉製粉の小麦粉「ボンジェルメ」「エクラ-エル」を使用した本場ナポリのピッツァをご賞味ください。

Pizza.co.lab HP;

<https://pizzacolab.business.site/>



新製品発売状況



しっとりとしたお菓子を作るなら、
「花象 姫すみれ」

今回は菓子用粉「花象姫すみれ」をご紹介します。

近年食品の産地に対する消費者の関心の高まりから、国内産小麦を使用したパン・菓子類が一定規模の市場を形成するようになってきています。そこで、国内産小麦の特性を活かし、外国産小麦には見られない国内産小麦の独特の食感と味を付与した小麦粉を開発いたしました。

『しっとり感』が持続し、『ぱさつき』を抑えた製品ができるのが特徴です。焼き物類、特に油脂分が少なく水分の多い製品(例:ブッセ・カステラ・どら焼き・甘食・饅頭等)では『しっとり感』を実感していただけます。また蒸し物類(例:蒸し饅頭・蒸しドラ・蒸しパン・蒸しケーキ等)では、製品に『やわらかいもち感』を付与することができます。スポンジ系の製品では浮きがよく保形性も良いため、見た目にも美しい製品を得ることができます。国内産麦の色調はくすむ傾向があるという印象を持つ方もいるかもしれませんが、「花象姫すみれ」は製粉技術を駆使することでくすみを抑えています。

様々な製品に応用が可能ですので、是非一度、お試しください。



雑感

当社がサポートカンパニーを務めているプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」について、熱心なサポーター社員が雑感を書いてくれました。新型コロナウイルスが様々なスポーツに影響をおよぼしていますが、一刻も早くこの事態が収束し、またスポーツ観戦・応援に行けるようになることを願います。

千葉ジェッツを応援しよう!!

千葉製粉が千葉ジェッツのサポートカンパニーとなって早2年目、皆さまのバスケットボールへの興味も高まり、最近ではチケットの争奪戦が激しくなっております。小さな頃からバスケットボールに携わってきた私にとって、このスポーツが当社だけでなく世界的にも注目されるようになったことはとても嬉しく思います。

千葉ジェッツは3月16日現在、全50試合中40戦28勝12敗と東地区で3位の好順位をキープしております。シーズン前半は立ち上がりが不調だったものの、後半は勢いが出てきており、最終戦に向けて選手たちの迫力が増していく様子を直接肌で感じることができません。

試合会場ではスピード感のあるゲーム展開や外人選手のぶつかり合う迫力のある場面を、1~2mの近距離で見ることができるのも魅力ですので、興味がある方はぜひご観戦頂ければと思います。

試合以外にもちょっとした空き時間を楽しめるように、STAR JETSによるチアやマスコットキャラクターのジャンボくんとのお触れ合い、ジェッツ考案のフード等、お楽しみが盛り沢山です。

現在新型コロナウイルスの感染拡大を受けて延期となっておりますが、2020年アジアカップ予選にも千葉ジェッツより2名、富樫勇樹選手・ギャビン・エドワーズ選手が日本代表候補として選出されています。今後の動きを要チェックです！

(524)



年度末のこの時期、皆様はいかがお過ごしでしょうか。
 新型コロナウイルスの影響が至るところに出てきている中、私は先の見えない現状に少しばかりの不安を感じておりますが、手洗いうがいをしっかり行い、十分な睡眠と食事をとるなど健康的な毎日を心がけることで、日々を元気に過ごし、コロナウイルスに負けないように努めております。

年度末に思うこと・・・

2020年も3ヶ月が過ぎようとしています。この時期、普通であれば東京オリンピックを控えて何となく気持ち的に高揚し、また年度末で忙しく過ごしていたり、学生も入試や卒業式で一喜一憂する頃かと思います。

しかし今年は様子が違います。新型コロナウイルスの影響で不要不急の外出は控えるよう、また学校は春休みまで休校にと、国の指示が出されています。そのような中、我が家のお坊ちゃまは3月4日から期末試験が予定されていましたが、学校が休みとの連絡が入りガッツポーズを決めていました。ただ急な通達であったため、小さなお子さんがいる家庭ではどうしたら良いか困っており、子育て支援センターに勤める親類によると相談がたくさん来ているようです。

また例年この時期はインフルエンザウイルスが流行ってくる頃で、学級閉鎖の報告が聞かれたりします。実際、新型コロナウイルスの報道が大きくなる前に、近所の学校で学級閉鎖の話を聞きましたが、ダイヤモンドプリンセス号の話が報道されるやインフルエンザの話はトンと聞くことがなくなりました。1月末ごろまでは店にはマスクが大量にあったのを記憶していますが、2月に入ってから店頭でマスクを見かけることはありません。奇しくも会社ではBCP(事業継続計画)の策定を検討していたところでしたが、今回のようなパンデ

ミック感染症への対策は、想定を超えるものではなかったかと思われれます。

見えない敵にどう対応していけばよいか、これからいろいろな情報が入ってくると思いますが、まずは一人一人の行動が重要になってきます。できるだけ飛沫感染が疑われる場所を避けるとともに、自身の免疫力を高めるため、疲れを貯めない、ストレスを貯めないことが大切です。

さて我が家では子供がずっと家にいるので、先日一緒にK坂46の東京ドームコンサートのDVDを観させられましたが、感動しました！COVID-19の終息宣言が出されたら、握手会に参加したいと思います。

KI

